

第104回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

| | | | |
|-----------|-------|-------|--------|
| 現金 | 当座預金 | 売掛金 | 備品 |
| 仮払消費税 | 航空機 | 建物 | 買掛金 |
| 備品減価償却累計額 | 未払消費税 | 仮受消費税 | 未払法人税等 |
| 売上割引 | 仕入割引 | 売上値引 | 受取利息 |
| 雑収入 | 仕入 | 仕入値引 | 租税公課 |
| 減価償却費 | | | |

- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- 南雲航空株式会社は、決算（年1回決算）にあたり、1機当たり取得原価 ¥ 5,000,000 の航空機 6機について生産高比例法により減価償却を行った。なお、残存価額は取得原価の 10%、航空機 1機当たり総飛行可能時間は 60,000 時間、当期の平均飛行時間は 6,000 時間であり、直接法により会計処理をする。
- 株式会社アパレル上杉は、決算にあたり、商品売買取引に係る消費税の納付額を計算し、これを確定した。なお、消費税の仮払分は ¥ 200,000、仮受分は ¥ 300,000 であり、当社は消費税の会計処理として税込方式を採用している。
- 松平産業株式会社は、平成 21 年 8 月 19 日、得意先結城商店に対する売掛金を小切手で受け取った。なお、この売掛金は平成 21 年 8 月 1 日に販売した商品 ¥ 3,000,000 に対する債権であり、販売日の 50 日後に支払う契約であるが、販売日から 30 日以内に入金があった場合には、掛け代金の 2% の割引きを認める条件がついている。
- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)

・解答

| | 借方科目 | 金額 | 貸方科目 | 金額 |
|---|---------------------------|-----------|-------|-----------|
| 1 | (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除) | | | |
| 2 | 減価償却費 | 2,700,000 | 航空機 | 2,700,000 |
| 3 | 租税公課 | 100,000 | 未払消費税 | 100,000 |
| 4 | 現金 | 2,940,000 | 売掛金 | 3,000,000 |
| | 売上割引 | 60,000 | | |
| 5 | (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除) | | | |

・解説

1. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)

2. 固定資産の減価償却に関する問題です。

本問は生産高比例法により減価償却を行っているので、利用度に応じた減価償却費を計上します。

$$\text{取得原価 } 5,000,000 \text{ 円} \times 0.9 \times 6,000 \text{ 時間} \div 60,000 \text{ 時間} = 450,000 \text{ 円} \times 6 \text{ 機} = 2,700,000 \text{ 円}$$

固定資産の減価償却に関する問題は第 116 回の問 1、第 130 回の問 3、第 140 回の問 5 でも出題されていますが、いずれも簡単な問題なので必ず解けるようにしておいてください。

3. 消費税に関する問題です。

消費税を税込方式により記帳している場合、期中における消費税の受払いは売上や仕入等を含めて処理しておいて、消費税の納付額が確定したタイミングで租税公課と未払消費税を計上します。

本問は、問題文に「消費税の仮払分は ¥ 200,000、仮受分は ¥ 300,000」とあるので、納付額 100,000 円 (= 300,000 円 - 200,000 円) を租税公課および未払消費税で処理します。

消費税に関する問題は、第 110 回の問 2 や第 117 回の問 3、第 124 回の問 3、第 132 回の問 3、第 138 回の問 5、第 142 回の問 1、第 143 回の問 5、第 144 回の問 3、第 146 回の問 5、第 147 回の問 3、第 150 回の問 4 でも出題されているので、あわせてご確認ください。

4. 売上割引に関する問題です。

売上割引は、早期回収の見返りとして代金の割引を行う際に使う勘定をいい、金融上の取引に起因するものなので、売上戻りや売上値引のように売上控除項目として処理するのではなく「売上割引」という独立の科目をもって、営業外費用として処理します。

本問も早期回収の要件を満たしているので売上割引を計上することになりますが、早期回収の要件は会社・取引ごとに異なり、日商簿記検定 2 級の仕訳問題で出題される場合は必ず問題文に指示があるので暗記する必要はありません。

売上割引に関する問題は、第 112 回の問 2や第 118 回の問 1、第 126 回の問 4でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)